

働く中でのご苦労や

喜びについて教えてください。

専従すると決めたものの分からないことが多く苦労しましたが、分からないことは、なりふり構わず専門家に聞いてまわりました。

また、酒造りに専従し始めた時期にいろいろな試練が重なり、行き詰って悶々とした日々を過ごしました。活路を見出すために首都圏に営業に出たり、酒造りの全工程を見直したりと、「できることは全て出し切ろう」という気持ちで動いていました。

その後、人から勧められて、パリの日本酒コンクール「Kura Master」へ出品したところ、純米酒部門で金賞を受賞、またブリュッセル国際コンクール「SAKE selection」の純米



酒部門では、プラチナ賞をいただきました。このまま続けなさいと背中を押してもらったようで自信が付き、とても嬉しかったです。

受賞をきっかけに、蔵の移設と私への杜氏の代替わりによって、蔵に新しい風を吹き込むことを夫と共に決意しました。

「その人らしく働く」ために大切なことは何だと思えますか。

「自分軸」を大切にすることだと思います。

以前の私は、「良い嫁」「良い妻」「良い母」などのイメージにとらわれて、どこに向かって歩いているのかも分からなくなっていました。立ち止まって考えてみた時、一つひとつを自分軸で選択し決断していくことが、自分らしい生き方につながると気づきました。

自分自身の選択に責任を持つということは大切です、自分の人生は自分で責任を持つからおもしろくなると思いつながら、日々頑張っています。

今後の抱負をお聞かせください。

杜氏としては経験が浅いので、研鑽を積むしかないと考えています。

「意志あるところに道は開ける」という言葉がありますが、杜氏の道は、誰

かに切り開いてもらったのではなく、自分で切り開いてきました。信念を持って進むことはとても大事だと感じています。私には、人より優れたセンスや能力はありませんが、今いる環境の中で出来ることを精一杯やれば、新しい道が切り開かれていくと思っています。

自分らしさを持つて、私にしかできない酒造りのスタイルを確立し、自分の人生を酒造りに賭けてみたいと思っています。

また、今は夫と二人で酒造りをやっていますが、地元の若い人が就職できないような企業になって、地域を元気にしたいと考えています。

(取材：河村、小柳)



角島ジェラート ポポロ

代表

あきえだ みか
秋枝 美香さん

出会いに支えられ今がある

長年暮らした宮城県から下関へ。丁寧につ作られたオリジナルジェラートには、周りの人への感謝が詰まっています。

仕事を始めたきっかけ

内容について教えてください。

ラート店を開業し、お店を手伝い始めたのがきっかけです。

私の父が1998年に宮城県でジェ

2011年に発生した東日本大震災で、お店は被害を免れましたが、5年